

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

令和3年9月30日発行 No.9

文責：校長 山中 茂生



学校 HP は
こちら



日常が戻ってきました

個別登校～オンライン授業～分散登校～4 限日課を経て9月27日より平常日課となり、徐々に学校の生活も日常に戻ってきました。楽しいはずの給食の時間が「黙食（もくしょく）」であったり、休み時間には遊び方や時間が制限されたりしている状態ではありますが、「今はこれが当たり前」と順応していく子どもたちの力に感心します。この状況の中でも、1日1日を大切にして充実した日々を送ってほしいと思います。

運動会について

先日ご案内させていただいた通り、今年度の運動会は、「羽津北小スポーツフェスティバル」として、体育科で学習した成果を発揮する場という形で11月10日（水）の午前中に実施します。低学年・中学年・高学年で時間を分け、さらに学年別に競技をします。例年の運動会とは内容が大幅に変更となりますが、子どもたちの頑張りを見守ってやってください。

尚、観覧に際して、感染症対策のため様々な制限を設けさせていただくことになります。また、感染症の拡大状況によっては観覧を中止する場合があります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくをお願いします。詳細については、後日学年だより等でご案内します。

2学期の行事について

- ・10/ 8（金） 6年生修学旅行説明会【オンライン開催】
- ・10/12（火） 5年生自然教室【日帰りで実施】 1年生保護者給食試食会 ⇒ 中止
- ・11/ 9（火） 三泗陸上記録会 ⇒ 中止
- ・11/10（水） 羽津北小スポーツフェスティバル
- ・11/18（木） 三泗小学校音楽会 ⇒ 中止
- ・11/26（金） マラソン記録会

◎延期になっております遠足については一旦中止とし、学年ごとに日程を決めて野外活動等に替えて実施することになりました。（原則、給食のある日に実施しますのでお弁当はいりません）

◎この他の行事については、現時点では予定通り実施の方向ですが、中止・延期の可能性がります。変更になった場合は、追ってお知らせします。

異動のお知らせ

これまで本校で長年勤務していただきました介助員_____が、家庭の都合により9月30日（木）をもって退職することとなりました。後任には10月4日（月）から、新しく_____が介助員として勤務することになります。これからも前任の山崎同様、よろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査～結果と分析～

今年度は、5月に6年生が「全国学力・学習状況調査」（国語・算数）を実施し、子ども達一人ひとりの学力の定着状況の確認とともに、教職員の指導方法の改善に役立てています。本校の調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。

【県・全国平均との比較】

○国語は、県平均を3ポイント上回り、全国平均を2.3ポイント上回る結果となりました。算数は、県平均と同ポイント、全国平均に1.2ポイント下回る結果となりました。

【学力調査からみられる本校児童の特徴】

《国語》

強みとして、ほとんどの項目で全国平均より高い結果が得られました。漢字3問のうち2問で全国平均よりも、9.4、8.7ポイント高く、朝学習などで繰り返し復習していることの成果が出ていることがわかります。平均以上の項目が多かったことから、国語の基礎・基本の力は定着していると考えられます。また、文法的な問題や文章の読み取りそのものはできているといえます。

弱みとして、「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」では全国平均よりも8.6ポイント低く、「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」で、それぞれ2.9ポイント、3.7ポイント低い結果となりました。このことから、与えられた条件を理解し、指示に従ってまとめて文章を書くことに課題があると考えられます。

《算数》

強みとして、「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く」問題では、全国平均より7.4ポイント高く、「帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く」問題では、5.5ポイント高い結果が得られました。いずれも文章で書いて説明する問題ですが、理論的に説明する力がついてきていると考えられます。

弱みとしては、「直角三角形の面積を求める式と答えを書く」問題で、全国平均よりも27.7ポイント低く、「速さを求める除法の式と商の意味を考える」問題で、7.9ポイント低い結果となりました。誤答の原因として、直角三角形の底辺がどれであるかを意識せずに明示されている3辺をかけたり、2で割ることを忘れてしまったりしたと考えられます。また、時間・速さ・道のりの学習では求めるものを変えて学習することが必要と考えられます。

【本調査問題の趣旨等を踏まえた授業改善について】

上記の結果から、児童の強みを伸ばし、弱みを改善する方策として下記の取り組みを進めています。

《国語》

全体的には、よい結果が得られています。これに関しては、本校の研究では国語科を中心に置き、学校全体で指導方法を共有しながら研究を進めてきたことが強みとして表れていると考えられます。

低学年や中学年までに大切にしていることや高学年での取り組みは次の通りです。

- ・週1回必ず図書館に行き、読書活動に取り組み、家庭読書を推奨しています。
- ・物語を読んで感想文を書く取り組みや説明文を読んで報告書を書く取り組みなどに力を入れています。書くときには、最初はある程度「型」を用意し、その「型」に合わせて書くことから始め、徐々に自由に書かせるようにして段階を踏んで指導しています。また、児童の思考の流れを大切にするために「四日市モデル」を使った授業を実践しています。特にその中の「見通しを持たせること」を重視し、児童が「自分も書けそうだ」と意欲をもって取り組むことができるように指導を進めています。
- ・「考えを持つ→小グループで意見を交わす→全体の場で話し合いを深める」という流れを意識して、主体的に自分の意見が言える児童を育てることを目指しています。
- ・朝の会などでスピーチをするときに、構成を考えたり聞く人を引き付ける工夫を入れたりしながら行うように指導を進めています。

- ・限られた文字数で説明をするような問題に取り組み、一定の条件下でも読み手にとってわかりやすい表現ができるように指導を進めています。

《算数》

県平均と同ポイントではありますが、全国平均を少し下回っていることから、本調査で明らかになった課題を中心に、下記のように指導方法の改善を進めていきます。

- ・児童の思考の流れを大切にし、どの授業でも「めあて」と「ふりかえり」を意識した授業の流れを徹底します。
- ・一人ひとりが説明する場を増やすようにしていきます。
- ・板書の工夫、ノート指導をすることにより、学習の定着を図ります。
- ・1学級の人数により、習熟にアンバランスが生まれないように、教員の複数配置や少人数での授業を行える環境を確保して、個に応じた丁寧な指導を進めていきます。
- ・面積の求め方、速さ・時間・道のり、割合など、児童が理解することに困難さを感じる単元については、復習の時間を十分にとることができるようにカリキュラムを工夫して進めていきます。

【学習習慣の確立と学力補充の充実について】

今後も研究を推進しながら下記のような取り組みを進め、児童の学力向上・学習習慣の確立を図っていきます。

- ・毎日の宿題の定着化を図り、自主学習を推奨していきます。
- ・家庭学習の時間を増やすために、ノートの良い見本を示したり励ましの言葉掛けをしたりして児童の学習意欲の向上を図ります。
- ・読書の時間を増やすために読書を宿題に出し、親子読書・家庭読書を奨励していきます。
- ・朝の会や帰りの会で新聞記事やニュースの話題を取り上げるなどして、家庭で新聞を読んだりニュースを聞いたりするような意欲づけを行います。
- ・必要に応じて、夏休み、業間、放課後等を利用した補充学習を行います。
- ・漢字の書きや基礎計算力は、朝の帯時間を使った取り組みで今後も定着を図っていきます。

【児童質問紙からみられる本校児童の特徴】

たくさんの項目で全国平均より高いものが見られました。（いずれも全国平均との比較）

- ・「5年生までに受けた授業は自分に合った教え方、教材、学習時間などになっている」⇒ 20.2ポイント高い。
- ・「学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」⇒ 19.7ポイント高い。
- ・「やり遂げるようにしている」⇒ 18.3ポイント高い。
- ・「道徳で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」⇒ 16.9ポイント高い
- ・「学校に行くのは楽しい」⇒ 16.0ポイント高い。

以上のように、たくさんの項目で高い値が出ていることから、家庭・地域での支援を受けながら、意欲的に学習できる環境の下で学習していることがうかがわれます。

また、学習面では、「国語の学習の内容がよくわかる」⇒15.9ポイント、「算数の学習は大切だと思う」⇒11.3ポイント全国平均よりも高いことから、意欲をもって取り組み、達成感を得ていることがわかります。

逆に5年生までにコンピューターなどのICT機器の使用頻度が低く(5.4ポイント)、他の児童と意見交換したり調べたりする頻度(20.9ポイント)が低いことがわかりました。今年度ICTを活用した授業研究に取り組んでおり、児童の意識も大きく変わることを期待しています。

今後も本校の教育目標「自分らしさを出し合い、共に学ぶ子どもの育成」をご家庭、地域みなさんと共有させていただきながら、皆様のご協力のもと、教職員一同、学校教育活動に尽力して参ります。変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。